

# 令和5年度事業報告書 <グループホーム白楽荘みくにの里>

テーマ：福祉・医療・介護の地域共生社会の中で、安全で安心な魅力ある法人サービスを目指す

サブテーマ：法人の一つの事業所として、「共存・共栄」を創造し、実現可能な介護サービスを展開する

## 1. 認知症高齢者の心身機能に応じて、皆が笑顔のある安楽な毎日を送れるよう支援する

- ・法人や事業所独自の理念・方針を事務所や玄関内の目に届く場所に掲示することで、常時意識して職務を遂行する事が出来た。
- ・個別ケアでの問題や課題など随時チーム会議を行い改善・解決に向けてチーム職員の意識が向上。
- ・利用者サービス計画書を定期的に申し送りに閲覧し、チーム職員が統一したケアを実践した。
- ・新型コロナの感染に応じた家族との面会や、敷地内で出来る余暇活動に重視し、共同生活を送る事が出来た。

## 2. 地域社会の一員として、健全で共に生活を営む機能や役割を果たすための事業所を目指す

- ・法人内研修の参加・資格取得を推進し、介護技術・知識・認知症ケアの専門性を高めた。
- ・年間を通じて夜勤者の不足もあり、勤務への負担を生じた。夜勤専門雇用者の採用をしたが、人材安定の維持が難しかった。
- ・「持ち込まない。広げない」基本的な感染症対策を徹底。利用者への新型コロナ感染発症者が無かった。  
緊急時(急変)対応訓練や感染症の対応手順の実技訓練を行った。
- ・各事業所との情報共有により、入退所において利用者や家族様への適切な支援が出来た。

・みくにの森クリニックや外部公共医療機関との連携体制を強化して、健康管理・心身機能向上・  
精神面の安定を図る事が出来た。 年間(R5.4～R6.3) 入院者 3 名・入退所者 10 名